



## 2021年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年10月15日

上場会社名 ティアンドエス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4055 URL <https://www.tecsvc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 武川 義浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員業務本部長 (氏名) 木下 洋 TEL 045-263-8286  
 四半期報告書提出予定日 2021年10月15日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年11月期第3四半期の業績 (2020年12月1日～2021年8月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第3四半期	1,975	19.6	278	28.9	284	31.6	199	34.0
2020年11月期第3四半期	1,652	-	215	-	216	-	148	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第3四半期	53.79	51.51
2020年11月期第3四半期	46.63	42.61

- (注) 1. 2020年8月7日付で東京証券取引所マザーズに上場したため、2020年11月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新規上場日から2020年11月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
2. 2020年4月14日付で普通株式1株につき1,100株の割合で株式分割を行い、2020年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年11月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2021年11月期第3四半期	1,766	1,400	1,400	1,400	79.3
2020年11月期	1,502	1,212	1,212	1,212	80.7

(参考) 自己資本 2021年11月期第3四半期 1,400百万円 2020年11月期 1,212百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	-	0.00	-	13.50	13.50
2021年11月期	-	0.00	-	-	-
2021年11月期 (予想)	-	-	-	6.75	6.75

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 2. 2020年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年11月期の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 2021年11月期の業績予想 (2020年12月1日～2021年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,720	20.0	405	33.0	410	34.7	287	21.9	77.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年11月期3Q	3,816,600株	2020年11月期	3,585,600株
② 期末自己株式数	2021年11月期3Q	－株	2020年11月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年11月期3Q	3,709,378株	2020年11月期3Q	3,193,545株

(注) 2020年4月14日付で普通株式1株につき1,100株の割合で株式分割を行い、2020年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年11月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大により、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象地域が拡大するなど、厳しい状況が継続いたしました。各種政策の効果や海外経済の改善に加え、ワクチン接種が本格的に進み始めたことにより、社会経済活動の正常化が期待されましたが、新型コロナウイルス感染症の収束時期は依然として見通せず、先行き不透明な状況が続いております。企業活動においては、在宅勤務やオンラインミーティングの活用、クラウドサービスの活用、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進など、ITの重要性や業務のIT化の流れは依然として拡大している状況であります。

当社の事業は、システム開発及びその関連サービスの単一セグメントですが、事業の構成をソリューション、半導体、先進技術ソリューションの3カテゴリ構造とし事業展開しております。上記のような経済環境のなか「ソリューションカテゴリ」では産業領域に特化せずIT人材の供給を継続し、IT開発を支える事業の拡大を図ってまいりました。「半導体カテゴリ」では工場内システムの保守及び運用サービスや、ITヘルプデスク等半導体工場のITインフラストラクチャー運用支援全般の事業拡大を図ってまいりました。「先進技術ソリューションカテゴリ」ではAI関連製品を開発中のお客様向けのソリューション提供の拡大を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高1,975,571千円(前年同四半期比19.6%増)となりました。従業員に対する業績連動賞与45,000千円の引当計上を吸収し、営業利益278,209千円(前年同四半期比28.9%増)、経常利益284,274千円(前年同四半期比31.6%増)、四半期純利益199,544千円(前年同四半期比34.0%増)となりました。また、エンジニア採用については、採用数の増加ペースは鈍化傾向ではあるものの、当第3四半期累計期間の新規採用(新卒・中途)は45名まで進捗いたしました。

当第3四半期累計期間におけるカテゴリ毎の経営成績は次のとおりであります。

#### ①ソリューションカテゴリ

当第3四半期累計期間の売上高は、1,518,241千円(前年同四半期比14.9%増)となりました。

主要取引先からの受託開発案件の受注が引き続き堅調に推移しました。特に、主要取引先であるキオクシア株式会社より、工場内システムの開発に関する大型受注があったことが寄与し、大幅な増収となりました。

#### ②半導体カテゴリ

当第3四半期累計期間の売上高は、345,540千円(前年同四半期比33.0%増)となりました。

主要得意先からの継続受注により、半導体工場における保守・運用サービスに係るエンジニア数は堅調に推移し、売上高の増加に寄与しました。

#### ③先進技術ソリューションカテゴリ

当第3四半期累計期間の売上高は、111,789千円(前年同四半期比57.2%増)となりました。

AI関連の研究開発支援サービス、論文調査支援などの継続受注や新規取引先からの受注が順調に推移しました。特に、前期より始まった日本電気株式会社との取引が拡大していることに加え、新規取引先の開拓も進んだことから、売上高は前年同四半期に比べ50%を超える伸びとなりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,663,170千円となり、前事業年度末に比べ255,673千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が四半期純利益の計上等により151,515千円、売上高の伸長に伴い未収入金が41,815千円、売掛金が38,503千円増加したことによるものであります。固定資産は103,204千円となり、前事業年度末に比べ7,779千円増加いたしました。これは主に賞与引当金の増加に伴い繰延税金資産が9,307千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は1,766,375千円となり、前事業年度末に比べ263,452千円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は316,432千円となり、前事業年度末に比べ72,828千円増加いたしました。これは主に賞与引当金が65,444千円、未払法人税等が25,515千円、買掛金が25,118千円増加し、冬季賞与の支給に伴い未払費用が28,999千円減少したことによるものであります。固定負債は49,883千円となり、前事業年度末に比べ2,917千円増加いたしました。これは退職給付引当金が2,917千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は366,316千円となり、前事業年度末に比べ75,745千円増加いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,400,058千円となり、前事業年度末に比べ187,707千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が四半期純利益の計上により199,544千円増加し、配当により24,202千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益がそれぞれ前回予想を上回る見通しであることから、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日（2021年10月15日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年11月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,016,928	1,168,443
売掛金	250,442	288,946
仕掛品	6,147	30,770
未収入金	121,206	163,021
その他	13,672	13,089
貸倒引当金	△900	△1,100
流動資産合計	1,407,497	1,663,170
固定資産		
有形固定資産	23,542	22,056
無形固定資産	1,178	1,860
投資その他の資産	70,704	79,287
固定資産合計	95,425	103,204
資産合計	1,502,923	1,766,375
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	64,473	89,592
未払法人税等	42,326	67,841
賞与引当金	5,822	71,266
その他	130,981	87,731
流動負債合計	243,604	316,432
固定負債		
退職給付引当金	38,895	41,812
その他	8,071	8,071
固定負債合計	46,966	49,883
負債合計	290,571	366,316
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	334,600	340,783
資本剰余金	285,929	292,112
利益剰余金	591,821	767,162
株主資本合計	1,212,351	1,400,058
純資産合計	1,212,351	1,400,058
負債純資産合計	1,502,923	1,766,375

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)
売上高	1,652,086	1,975,571
売上原価	1,153,694	1,414,880
売上総利益	498,391	560,691
販売費及び一般管理費	282,568	282,481
営業利益	215,823	278,209
営業外収益		
受取利息	1	4
助成金収入	—	660
補助金収入	3,000	5,550
その他	22	0
営業外収益合計	3,024	6,215
営業外費用		
株式交付費	2,785	150
その他	0	0
営業外費用合計	2,785	150
経常利益	216,061	284,274
税引前四半期純利益	216,061	284,274
法人税、住民税及び事業税	42,987	94,038
法人税等調整額	24,168	△9,307
法人税等合計	67,155	84,730
四半期純利益	148,905	199,544

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)

当社の事業は、システム開発及びその関連サービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)

当社の事業は、システム開発及びその関連サービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。